

改革フォーラム



上段：越川議員・松井議員
下段：牧田議員・首藤議員

新年度のまちづくりに対し、会派から提出した政策・予算要望の提案内容や過去の一般質問などの議論を踏まえ、代表質問をおこないました。



松井 議員



代表質問動画

【新型コロナウイルス対策】

日々変化している事態の認識を質問した上で、政府の春休みまでの学校休校要請への対応、中小・小規模事業所などへの影響と対応策、情報提供のあり方、ウイルス検査の体制強化、ワンストップ相談窓口の設置、保健所へのリエゾン（連絡員）派遣と市からのマンパワーの支援について求めました。

【苦小牧市総合戦略】

5年間の第1期計画が令和2年3月で終了することから、目標値の達成率を質問した上で、新年度からの計画に「関係人口の創出」「テレワーク

の推進」「ワーケーション」「外国人労働者の確保」など新しい概念を盛り込むことを求めました。

【国際リゾート構想】

新年度予算に「IRの関連費計上」と報道されていることに対する市長の考えを質問した上で、本旨に沿った丁寧な発信をするべきと求めました。

【苦小牧市行政創革プラン】

取り組みのSDGsの関連づけ、AI、RPAの活用による市民サービス向上の取り組みを質問した上で、「電子申請」の取り組みを追加項目とすることを求めました。

【O53大作戦〜ステージ5〜】

平成28年から取り組んでいる戸別収集のモデル事業の対費用効果を疑問視し、早急に見直すことを進言しました。

【スポーツ施設の整備】

総合体育館の改修の考え方に、PFI導入の可能性を探り、緑ヶ丘公園を中心に移転改築の検討を進めるとの答弁がありました。

【特別支援教育】

明徳小学校跡地に令和3年開校予定の特別支援学校へ肢体不自由児・生徒が就学できるように道教委との協議を進める

よう求めました。



首藤 議員

【下水道築造】

市内に約1500kmある下水道管のうち、耐用年数50年を超過するものが約99kmあり、20年後には約834kmになる現状です。将来の税収減を想定し、効率よく事業を進める必要性と将来を担う子供たちに負担をかけない使用料金のあり方を質疑し「効率的な改築更新や歳出の抑制を図り、将来の建設改良工事について議論をおこない、それに備え、水道料金の検討会で料金水準の議論を進めていく」との答弁がありました。



牧田 議員

【市立病院事業資金不足】

新改訂プラン・ローリング版の資金不足比率（15.9%令和元年度見込み）の高さを指摘し「医療機器更新入替に必要な企業債の借入に資金不足解消計画の策定・提出が必要で環境が厳

しくなる。医師を確保し経営健全化に向けてさまざまな方策を検討したい」との答弁がありました。

【マイナポイント】

国が令和2年9月から実施するマイナポイント事業を質疑し「手続き支援や制度周知をおこなうほか、本庁、のぞみコミセン、沼ノ端交流センターにマイナンバーカード申請窓口を設置する」との答弁がありました。



越川 議員

【市街地への交流人口取り込み】

今後の魅力あるまちづくりのひとつとしてウォーターフロント開発を提案し「物流を中心に発展した本市ですが時代の変革とともに海辺に対する考え方も変わってきました。ウォーターフロントを含め魅力的なまちづくりにつなげたい」との答弁がありました。

【JRR利用促進対策】

高齢化社会の進展に伴い苦小牧駅にエスカレーターを設置を提案し「現時点で設置する考えがない」との答弁がありました。